

## 第7部

# 家計と暮らし



### 第1章 家計

- 150 消費者物価指数
- 152 10大費目別にみた消費支出の特徴
- 153 収入と支出のバランス
- 154 全国家計構造調査からみた消費の特徴



### 第2章 暮らし

- 155 住みやすさ
- 156 情報通信機器の保有及びインターネットの利用状況



### 第3章 協働

- 157 NPO法人の認証数
- 158 ボランティア活動の行動者率





# 住みやすさ

## 「奈良県は住みやすい」と回答した人の割合は ほぼ3人に2人



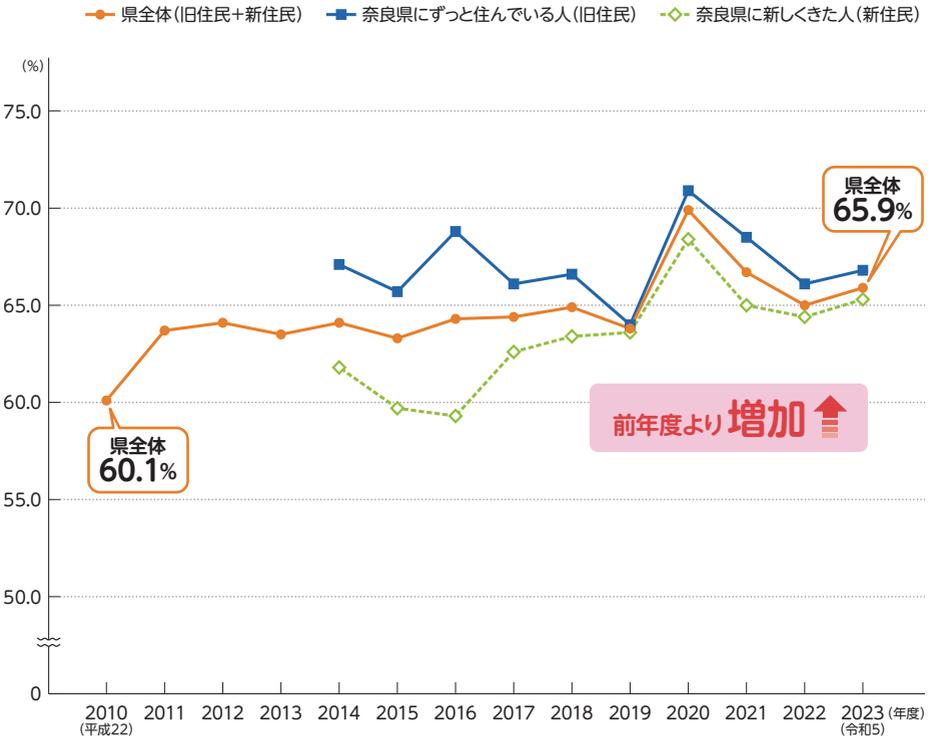
令和5年度県民アンケート調査で、「奈良県は住みやすい」と回答した人の割合は、65.9%となりました。前年と比較すると、0.9ポイント上昇しました。

「奈良県は住みやすい」と回答した人の割合は、2010(H22)年度と比較すると、5.8ポイント上昇しました。2011(H23)年度以降13年連続で2010(H22)年度の結果を上回る状況が続いています。

- 「住みやすい」と回答した人…「奈良県は全体的に住みやすい県だと思いますか。」の問いに対し、「とても住みやすい」又は「どちらかといえば住みやすい」と回答した人。
- 「旧住民」、「新住民」の分類…2014(H26)年度より集計区分を追加。「あなたは生まれたときから奈良県にお住まいになっていますか。」の問いに対する回答(「はい」または「いいえ」)で分類。

### 奈良県は住みやすいと回答した人の割合

資料：県政策推進課「県民アンケート調査報告書」





## 情報通信機器の保有及びインターネットの利用状況

## スマートフォンを保有する世帯の割合は全国13位



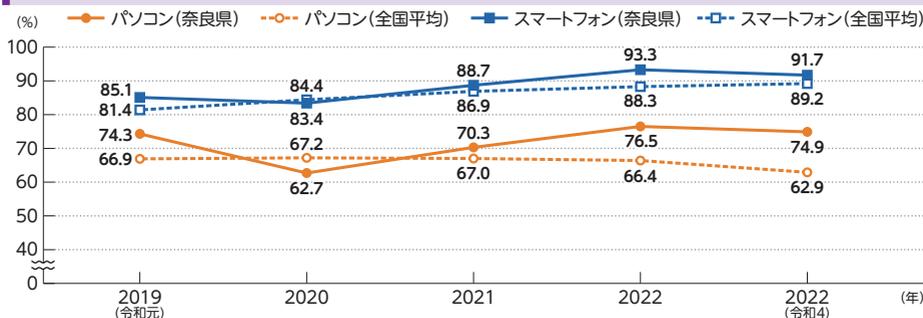
令和5年通信利用動向調査によると、スマートフォンを保有する世帯の割合は91.7%(全国13位)で、前年より▲1.6ポイント減少しました。

パソコンを保有する世帯の割合は74.9%(全国2位)で、前年より▲1.6ポイント減少しました。また、スマートフォンを保有する世帯の割合は、91.7%(全国13位)で、前年より▲1.6ポイント減少しました。

過去1年間のインターネットで利用した機能・サービスと目的・用途をみると、「電子メールの送受信」の割合が80.4%(全国4位)と最も高く、次いで「SNS(無料通話機能を含む)の利用」が79.6%(全国1位)など、その他多くの項目で全国平均を上回っています。

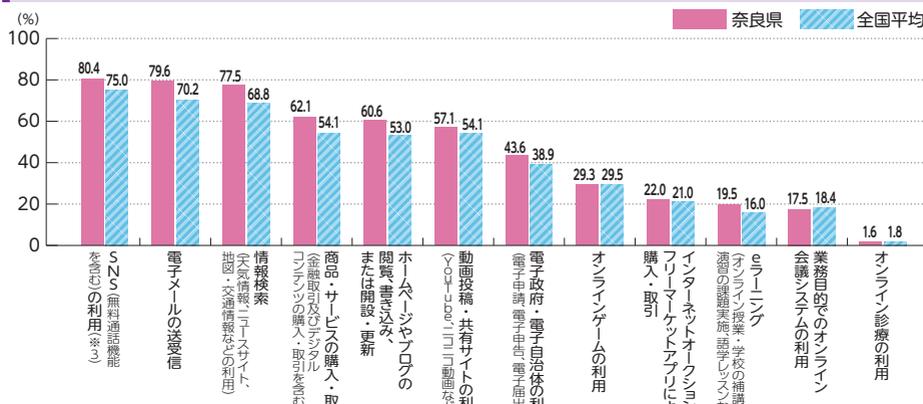
## パソコン及びスマートフォンの保有率

資料：総務省「通信利用動向調査」



## 過去1年間にインターネットで利用した機能・サービスと目的・用途(複数回答)

資料：総務省「通信利用動向調査」



※通信動向利用調査(世帯編)の問1の回答結果より「パソコン」、「携帯電話(PHSを含む)」、「スマートフォン」、「タブレット型端末」を保有する世帯の割合を抜粋。

※2 通信動向利用調査(世帯構成員編)問3(1)の回答結果より、「その他」、「無回答」を除いた回答を一部抜粋(問1で「1. はい」に○を付けた人が回答した過去1年間にインターネットで利用した機能・サービスと目的・用途)。

※3 Facebook、X(旧Twitter)、LINE、mixi、Instagramなど。